

科目名 (Subject)	経営戦略論 <Strategic Management>		
単位数 (Credits)	2 単位	開講時期	前期
担当教員名 (Name)	加賀田 和弘 (Kazuhiro Kagata)	研究室番号 (Office)	317
Office Hours	随時 (事前にメールで連絡をすること kagata5334@res.otaru-uc.ac.jp)		

### 1. 授業目的・方法 (Course objective and method)

授業目的：本講義では、経営戦略論に関するテキストの輪読を通じて、経営戦略論の基本的な理論や概念を理解することを目的とする。またそれらを用いて、急速な環境変化や競争激化にある現代企業の成功・失敗要因や持続的競争優位の源泉を解明・分析する力を涵養していくことを副次的な目的とする。

授業の方法：前半（8 週目まで）は受講生全員で経営戦略論に関するテキストを輪読し、基本知識の習得を目指す。その際、予め決められた報告者は全員分のレジュメを作成し、その報告内容について質疑応答および全体的な議論を行うことで知識の確認・定着を図る。

後半（9 週目以降）は習得した知識を用いて、現実の企業行動の分析をグループ（または個人）で行うことで、理論的な知識の実践的応用を図る。

### 2. 授業内容 (Course contents)

以下の予定は、受講生の人数等に応じて若干変更する場合がある。

- 第 1 週            オリエンテーションと経営戦略論基礎講義
- 第 2～8 週        経営戦略論に関する基本テキスト(プリント)の輪読  
(復習課題)        授業内容について特に重要なキーワードの内容を理解すること。
- 第 9～15 週      受講生の個人またはグループによる発表および討論  
(復習課題)        企業の事例について学習した理論を適用して理解すること。

### 3. 使用教材 (Teaching materials)

プリントを配布する。

### 4. 成績評価の方法 (Grading)

評価の要素	ウェイト
出席	10%
報告レジュメ	30%
グループ (または個人) 発表内容	30%
グループ (または個人) ディスカッション	30%

### 5. 成績評価の基準 (Grading Criteria)

経営戦略論の講義について、

秀 (100-90) : 内容をほぼ完全に理解し、応用的かつ独創的な考察・批評が出来ており秀でている。

優 (89-80) : 内容をほぼ理解し、応用的な考察・批評が出来ており優れている。

良 (79-70) : 多くの内容を理解し、常識的な考察・批評ができています。

可 (69-60) : 基本的な知識を有し、間違った理解はしていない。

不可 (59-0) : 内容を理解していない、または誤った理解をしている。

### 6. 履修上の注意事項 (Remarks)

事前にしっかりと予習をした上で授業に臨むこと。

報告者が授業を欠席する場合は、事前に他の受講生と交代した上で、担当者に連絡をすること。